

(仮称) 伊勢市郷土資料館基本構想 (案)

1. 施設の概要

次の施設を利用し、郷土資料館を整備します。

- (1)施設名 いせ市民活動センター北館
 ※地下1階、1階は従来どおりの施設用途(貸館等)とし、
 博物館施設は2階に整備
- (2)所在地 三重県伊勢市岩渕1丁目 96-1
- (3)構造・規模 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階地下 1 階
- (4)面積 1,685.86 m²
 〔内訳〕 地下 1 階 253.49 m²
 1 階 654.26 m²
 2 階 778.11 m²
- (5)建築年度 昭和58 年度

2. 背景

伊勢市の郷土資料館は、昭和60年9月に旧山田郵便局電話分室(本町)に開設したことに始まります。平成6年からは、旧市立図書館(岡本3丁目)の建物に移転して開設しましたが、建物の耐震上の問題により、平成23年3月に閉館に至りました。それ以降、当市には郷土の歴史・文化を総合的に紹介する博物館施設がなく、施設再開の検討を続けてまいりました。

一方で、当市では長期的な視点で公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うための伊勢市施設類型別計画を平成30年9月に策定しており、本計画のなかで、郷土資料館はいせ市民活動センターの建物を利用して再開することとしています。さらに、当施設の老朽後は、観光文化会館等との施設を複合させた新たな施設を整備する計画としています。

当市では本計画を基本に現在の施設の利用状況等も勘案し、いせ市民活動センター北館2階に郷土資料館を整備することとしました。

3. 現状の課題

(1)伊勢市の歴史・文化を総合的に発信する博物館施設の整備

市内には複数の博物館施設がありますが、いずれも特定の地域や場所、人物等を紹介・顕彰するための施設(※)です。市民や来訪者が、伊勢市の歴史・文化を総合的に学ぶことができる博物館施設が必要です。

※市立博物館施設

○伊勢古市参宮街道資料館

外宮と内宮を結ぶ参宮街道の歴史や妓楼、歌舞伎等に関する資料を展示公開

○伊勢河崎商人館

江戸時代に「伊勢の台所」として栄えた河崎の代表的な商家の建物を保存し、当時の暮らしを支えた商業や生活に関する資料を展示公開

○尾崎弔堂記念館

我が国の憲政史に功績を残し、世界平和の取組に尽力した尾崎弔堂に関する資料を展示公開

○山田奉行所記念館

江戸幕府が主要都市に設置した遠国奉行の一つである山田奉行所の建物の一部を復元し、奉行所に関する資料を展示公開

○賓日館

神宮の賓客の休憩・宿泊施設として明治時代に建設された建物を保存し、建物を一般公開するとともに縁の資料を展示公開

(2)郷土の歴史的資料の保存と活用

資料の時代や地縁等の属性に関わらず展示公開できる博物館施設がないため、所蔵する歴史的資料を十分に活用できていません。また、市民等からの資料の受入れに際して、適当な施設がないために寄贈に至らないケースもあり、かけがえのない郷土資料の散逸を招く一因にもなっています。

郷土の歴史的資料を市民共有の財産として大切に守っていくとともに、それらの価値を伝え、市民や来訪者の知的関心に応えるための博物館施設が必要です。

(3)各博物館施設の相互連携

当市では、各博物館施設(民間施設を含む)の開館状況、展示やイベントの開催

情報等を定期的に集約し情報発信していますが、十分に効果をもたらす取組にまで至っていません。より有効な情報発信の方法や施設間の連携による相乗効果を発揮するための新たな工夫が必要です。また、これらの取組を推進させるためにも、中心的な役割を果たす博物館施設が必要です。

4. 郷土資料館の基本理念

『過去から繋がる歴史・文化を現在・未来へと継承し、
郷土の魅力を発信するための拠点となる資料館』

5. 郷土資料館の基本方針

次の基本方針に基づいて、郷土資料館の施設整備、運営方法や事業活動のあり方を検討します。

(1) 歴史的資料を収集し、調査・研究成果の展示や教育普及活動を行う資料館

郷土の歴史・考古・民俗・産業等に関する資料を積極的に収集し、かけがえのない歴史的資料の散逸を防ぎます。また、これらの資料の調査・研究を行い、由来や価値等を評価して分類・整理のうえ保存します。さらに、所蔵資料の展示による普及活動を行うほか、学校等への出前授業や資料の貸出し等の教育支援活動を行います。

(2) 伊勢市の歴史・文化への理解を深め、あらゆる世代が愛着や誇りを育むことができる資料館

伊勢市の歴史・文化を理解するために、最初に訪れてもらえる博物館施設を目指します。また、総合通史的に学習できる展示を行い、市民はもとより市外からの来訪者や子どもにも分かりやすい展示内容や、関心を引くような展示手法を取り入れます。そして、あらゆる世代に親しまれ、伊勢市に対する愛着や誇りを育むことができる施設を目指します。

(3) 他の博物館施設と連携し、相乗効果を生むための拠点としての資料館

市内の博物館施設とのネットワークを再構築し、そのセンター博物館としての役割を担います。そして、各施設の最新の展示情報やイベントスケジュール、教育プログラム等を共有することで、来訪者等に対して一元的に情報提供を行います。また、共通

のテーマやプロジェクトによる連携事業や学芸員の交流等、各施設間の連携と協力により、それぞれが持つ豊富な知識や資源を最大限に活かし、相乗効果を生み出すことを目指します。

(4)魅力ある歴史・文化を広く情報発信し、観光をはじめとした地域振興に貢献する資料館

伊勢市の歴史・文化の魅力や特性を市内外に広くアピールし、郷土資料館のほか他の博物館施設や観光スポット等への回遊を促します。

また、地域資源を再発見・再評価して効果的に情報発信することで、地域コミュニティの活性化や郷土に対する愛着の醸成に寄与する等、地域振興に貢献する施設を目指します。